

令和 8 年 7 月 24 日 14 時 00 分

近 畿 地 方 整 備 局

近畿地方整備局管内一級河川の水質調査結果を公表

～令和 7 年「水質が最も良好な河川」に北川が 5 年連続で選ばれました。～

○国土交通省では毎年 7 月の河川愛護月間に、全国一級河川の水質調査結果を公表しています。

○北川は各調査地点の BOD（生物化学的酸素要求量）年間平均値が全調査地点平均で 0.5mg/L であり、また、各調査地点の BOD75% 値についても全調査地点平均で 0.5mg/L であったため、「水質が最も良好な河川」に 5 年連続して選ばれました。

【近畿地方整備局管内の主な水質現況】

○令和 7 年「水質が最も良好な河川」 [近畿版 p2]

・^{きたがわ}北川（福井県）

全国では対象河川である 160 河川のうち 13 河川が選出されました。（うち近畿では 1 河川）

○生活環境の保全に関する環境基準の満足状況 [近畿版 p3]

・環境基準を満足した地点は 89%（101 地点/113 地点）

○水質事故等の発生状況 [近畿版 p9]

・令和 7 年に 34 件の水質事故が発生

【公表資料の詳細】

・近畿版 <https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyoku/suisitu.html>

・全国版 http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyoku/suisitu/index.html

＜取扱い＞

＜配布場所＞近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、福知山市政記者クラブ、舞鶴市政記者クラブ、綾部新聞記者クラブ、京都府政記者クラブ、宇治日刊記者クラブ、宮津市政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、姫路市政記者クラブ、但馬県民局県政記者クラブ、豊岡市政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、橋本市政記者クラブ、新宮記者クラブ、新宮中央記者会、福井県政記者クラブ、大野市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、伊賀記者会、熊野市政記者クラブ

＜問合せ先＞ 国土交通省近畿地方整備局 河川部

河川環境課 課長 ^{みやざき}宮崎 ^{もとき}元紀 建設専門官 ^{ながさか}長坂 ^{けん}健

電話 06-6942-0608（直通）

令和7年 近畿 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Kinki



2025

- 水質調査結果
- 住民参加による水質調査の実施状況
- 水質事故等の発生状況
- 特集 近畿の河川 -^{かこがわ}加古川-

^{かこがわ}一級河川加古川の概要

^{かこがわ}加古川の環境改善の取り組み

^{かこがわ}魅力がいっぱい 加古川

令和7年 近畿一級河川の水質現況 CONTENTS

水質調査結果

主要河川の水質	2
過去10年間の水質改善状況	3
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	3
ダイオキシン類実態調査結果	4

住民参加による水質調査の実施状況

住民参加による水質調査の実施地点、参加者数	6
-----------------------------	---

水質事故等の発生状況

水質事故等の発生状況	9
------------------	---

特集

近畿の河川-加古川-	10
------------	----

水質調査結果

近畿地方整備局管内では、直轄管理している10水系167地点で水質調査を行っており、そのうち、類型指定されている113地点における令和7年の結果を見ると、89%の地点で環境基準を満足する結果となりました。

今後も、水質改善に繋がるよう、小学校や中学校と連携した水生生物調査による意識啓発や水に親しむイベント、清掃活動など市民・企業・大学・行政が連携した取り組みを継続して行きます。

主要河川の水質

令和7年「水質が最も良好な河川」に選ばれたのは、北川（福井県）の1河川です。北川は5年連続で選ばれました。

【水質が最も良好な河川の定義】

主要河川のうち、以下の両方の条件を満たす河川

- ① 対象河川の各調査地点のBODの年平均値について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ（※1）（小数点以下第二位を四捨五入）
 - ② 対象河川のBOD75%値（※2）について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/ℓ（小数点以下第二位を四捨五入）
- ※1：環境省の定めるBODの報告下限値（0.5mg/ℓ）
※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75×データ数番目の値（3頁下段 用語 参照）

令和7年の近畿地方17河川の地点別年平均値

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値※(mg/ℓ) ※【 】は75%値
		地点数	府県名	
新宮川	くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5【<0.5】 熊野川河口 0.6【<0.5】
紀の川	きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6【0.6】 御蔵橋 0.6【0.7】 恋野橋 0.6【0.6】 岸上橋 0.7【0.7】 三谷橋 0.6【0.5】 藤崎井堰 0.7【0.8】 船戸 0.8【0.9】 新六ヶ井堰 1.0【1.1】 紀の川大橋 0.8【0.8】
大和川	やまとがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 4.7【5.0】 太子橋 3.8【4.9】 御幸大橋 3.1【3.7】 藤井 2.4【2.7】 国豊橋 1.9【2.0】 河内橋 1.8【2.2】 浅香新取水口 1.5【1.5】 遠里小野橋 1.6【1.7】
淀川	よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 1.2【1.4】 宇治橋 0.8【0.9】 隠元橋 0.9【1.1】 観月橋 0.8【0.8】 宇治川大橋 0.9【1.0】 宇治川御幸橋 1.0【1.3】 枚方大橋 1.0【1.1】 鳥飼大橋 1.0【1.1】 菅原城北大橋 1.2【1.3】 伝法大橋 4.3【4.8】
淀川	やすがわ 野洲川	2	滋賀	石部 0.8【0.7】 服部 0.7【0.8】
淀川	かつらがわ 桂川	5	京都	渡月橋 0.6【0.7】 西大橋 0.7【0.8】 久世橋 0.6【0.6】 羽束師橋 0.9【0.9】 宮前橋 0.9【1.0】
淀川	うだがわ 宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7【0.7】 高倉橋 0.8【0.9】 辻堂橋 0.8【0.7】 室生路橋 0.7【0.6】
淀川	なばりがわ 名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.6【0.6】 名張 0.8【0.8】 家野橋 0.9【1.0】 高山ダム下流 1.1【1.1】
淀川	きつがわ 木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.9【1.0】 長田橋 1.2【1.5】 岩倉橋 1.3【1.6】 島ヶ原大橋 1.3【1.7】 笹瀬橋 1.2【1.6】 加茂恭仁大橋 0.9【1.0】 玉水橋 0.8【0.8】 木津川御幸橋 0.7【0.9】
淀川	いながわ 猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.7【1.0】 軍行橋 0.8【0.9】 猪名川橋 0.8【0.7】 利倉 2.5【2.6】
加古川	かこがわ 加古川	3	兵庫	国包 2.0【2.3】 池尻 2.4【2.2】 相生橋 1.9【1.9】
揖保川	いぼがわ 揖保川	5	兵庫	曲里 0.5【<0.5】 山崎 0.7【0.8】 龍野 0.6【0.7】 上川原 0.7【0.7】 本町橋 1.0【0.5】
円山川	まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.7【0.8】 立野 1.2【0.8】 結和橋 1.7【1.6】 港大橋 2.1【3.2】
由良川	ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.6【0.7】 筈巻橋 0.5【0.5】 波美橋 0.6【0.7】 由良川橋 0.6【0.6】 以久田橋 0.7【0.7】
北川	きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.5【0.5】 高塚 0.5【0.5】 西津橋 0.6【<0.5】
九頭竜川	くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6【0.6】 新布施田 0.8【0.8】 高屋橋 0.6【0.6】 九頭竜川河口 1.1【0.5】
九頭竜川	ひのがわ 日野川	2	福井	深谷 1.0【1.3】 日光橋 1.3【1.2】

用語

主要河川：直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川を指す。

BOD(生物化学的酸素要求量)：河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素の量のことで、BODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

過去10年間の水質改善状況

10年前と比べた水質改善幅が大きい地点は、利倉（猪名川）、内川流末（内川）でした。

10年前のBOD年平均値と比べた水質改善状況をみると、改善幅が大きい地点は利倉（うちかわりゅうまつ猪名川）、内川流末（内川）でした。

利倉（猪名川）地点は、例年全国的にも改善幅が大きい地点で、令和7年も全国1位となりました。また内川流末地点も全国3位でした。

過去からの河川水質改善状況

順位	水系名	河川名	地点名	①平成27年 BOD 平均値 (mg/ℓ)	②令和7年 BOD 平均値 (mg/ℓ)	①と②比較 水質改善幅 (mg/ℓ)
1	淀川	猪名川	利倉	6.0	2.5	3.5
2	淀川	内川	内川流末	3.0	1.1	1.9

全国
1位

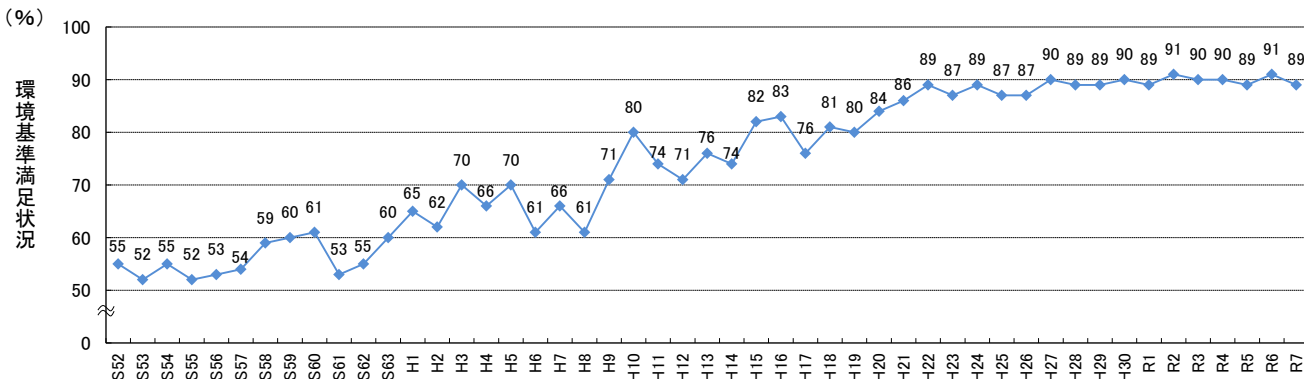
全国
3位

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

BOD(またはCOD)の環境基準を満足している地点の割合は89%で、ここ10年間は横ばいです。

(環境基準の満足状況は75%値で評価)

環境基準の類型が指定されている113調査地点（河川全100地点、湖沼13地点）中、101地点（河川99地点、湖沼2地点）で環境基準を満足しました。



近畿地方の一級河川（湖沼を含む）における環境基準の満足状況の経年変化

用語

COD(化学的酸素要求量)：湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、CODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

環境基準：人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として決められた目標値。

人の健康の保護に関しては全国共通の基準値であるが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められている。

類型：環境基本法に川の水質に関する基準値が定められており、河川水の利用目的に応じて、満足すべき値や維持していくための目標値がある。

生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められている。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型を指定する。

75%値(BOD、COD)：年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）

例えば、毎月1回測定していた場合、水質の良い方から数えて12×0.75=9 番目の値で評価する。

河川における類型ごとの環境基準値(BOD75%値)：AA類型：1、A類型：2、B類型：3、C類型：5、D類型：8、E類型：10（単位：mg/ℓ）

湖沼における類型ごとの環境基準値(COD75%値)：AA類型：1、A類型：3、B類型：5、C類型：8（単位：mg/ℓ）

ダイオキシン類実態調査結果

ダイオキシン類の実態調査結果は、水質が1地点で環境基準(1pg-TEQ/ℓ)を超過しました。底質はいずれの地点も環境基準(150pg-TEQ/g)を満足しています。

水質と底質のダイオキシン類実態調査を、平成11年度から管内10水系47地点で実施しています。令和7年度はこのうち10水系17地点において調査を行いました。

年間の評価値では、水質が木津川の1地点（岩倉橋）で環境基準（1pg-TEQ/ℓ）を超過する値（2.2pg-TEQ/ℓ）となりました。これによって、岩倉橋は令和8年度も引き続き重点監視地点として観測されることになります。一方、底質は全地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を満足しました。

検体ごとの結果では、木津川の1地点（岩倉橋）の水質において環境基準（1pg-TEQ/ℓ）を超過する値（3.8pg-TEQ/ℓ）が検出されました。

調査結果の概要

	調査地点数	環境基準値を超えた地点数
水質	17 地点	1 地点（※）
底質	13 地点	0 地点

※年間の評価値が環境基準値を超えた地点数を示す。木津川の岩倉橋で春季に環境基準値を超過している。

重点監視地点における調査結果

水系名	河川名	調査 地点名	地点の種類			調査時期	水質		底質	
			基準監視地点/ 補助監視地点 の区分	重点監視地点			検体毎の 調査結果	年間の 評価値 (※)	検体毎の 調査結果	年間の 評価値 (※)
				水質	底質					
淀川	木津川	岩倉橋	補助	○		春季	3.8	2.2	-	-
						夏季	0.56		-	

※年間の評価値：水質は年平均値、底質は年間の最大値。

用語

ダイオキシン類：ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾフラン』、『ポリ塩化ジベンゾパーラジオキシン』、『コプラナーポリ塩化ビフェニル』の3種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

重点監視地点：過年度の調査で環境基準値を超えた地点のうち、その後の調査で環境基準値を2年間下回っていない地点。

住民参加による水質調査の実施状況

国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民と河川管理者との協働で実施しています。

普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について（案）」を平成 17 年 3 月にとりまとめました。このうち、「感覚的な水質指標」による調査では、調査の一部を住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施しており、普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。住民との協働による水質調査は、住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとしています。

ここでは令和7年に実施された住民との協働による調査の実施状況をご紹介します。

住民参加による水質調査の実施地点、参加者数

住民参加による水質調査は、近畿地方整備局管内全10水系50地点で実施され、合計1,761人の参加がありました。調査の種類としては水生生物調査が地点数、参加者数ともに最も多く、全参加者数の約三分の一の参加がありました。

住民参加による水質調査の種類には今後の河川水質管理の指標調査の他にも出前講座や環境学習、河川愛護活動、水生生物調査などがあります。

①河川愛護活動・イベントの一環として実施

河川愛護月間などの行事や地元が開催するイベントにおいて、体験メニューの一つとして水質調査を実施します。令和7年は、1水系3地点で実施され、388人の参加がありました。

②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施

教育委員会や学校と河川管理者の連携のもと学校の授業において水質調査を実施します。令和7年は、2水系7地点で実施され、569人の参加がありました。

③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施

国土交通省では、平成17年から、水質調査の一部を住民と河川管理者の協働により実施しています。令和7年は、1水系4地点で実施され、64人の参加がありました。

④水生生物による簡易水質調査として実施

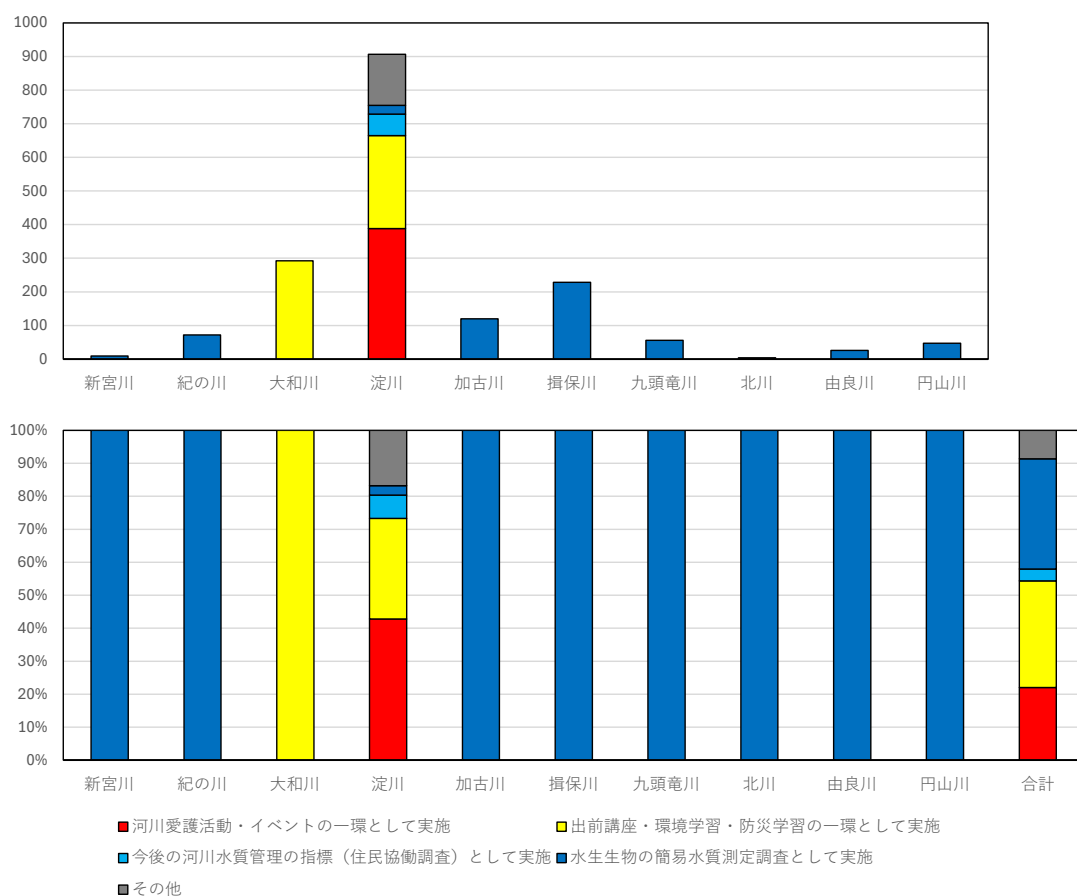
水生生物による簡易水質調査は、水の汚れ（水質汚濁）の長期的・複合的な状況を反映しているので、これらの生物の種類や数を調べることで、おおまかな河川の水質を知る調査です。令和7年は、9水系36地点で実施され、588人の参加がありました。

住民参加による水質調査：実施水系と地点数

水系	①河川愛護活動・イベントの一環として実施	②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施	③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施	④水生生物による簡易水質調査として実施	⑤その他	全体（R7住民参加による水質調査）
新宮川				1		1
紀の川				2		2
大和川		4				4
淀川	3	3	4	14		24
加古川				2		2
揖保川				8		8
九頭竜川				5		5
北川				1		1
由良川				1		1
円山川				2		2
水系数	1	2	1	9	0	10
地点数	3	7	4	36	0	50

※全体の地点数は延べ数

住民参加による水質調査：参加者数



住民参加による水質調査：参加者数が多かった上位5地点

順位	水系名	河川名	調査地点名	参加人数 (大人)	参加人数 (子ども)	参加人数 (計)
1	大和川	大和川	河内橋	15	230	245
2	淀川	猪名川	池田床固下流	64	161	225
3	淀川	猪名川	桑津橋	73	97	170
4	淀川	木津川	稲広橋	68	72	140
5	淀川	猪名川	初谷川	5	105	110



水質事故等の発生状況

水質の異常を見かけたらすぐに
最寄りの警察・消防・自治体・河川管理者に

通報

してください！
をお願いします

通報・連絡の際は、速やかな拡散防止や回収作業を行うための体制を確保するため、見つけた場所（川や橋の名前・目印となる建物など）、汚染物の種類（油・洗剤の泡など）、流出量（少し・たくさん）などの情報をお寄せください。

- 1.見つけた場所（川や橋の名前・目印となる建物など）
- 2.汚染物の種類（油・洗剤の泡など）
- 3.流出量（少し・たくさん）



水質の異常、
水質事故とは・・・？

➤ 油の流出、浮遊



➤ 有害物質の流出



➤ 魚のへい死



水質事故等の発生状況

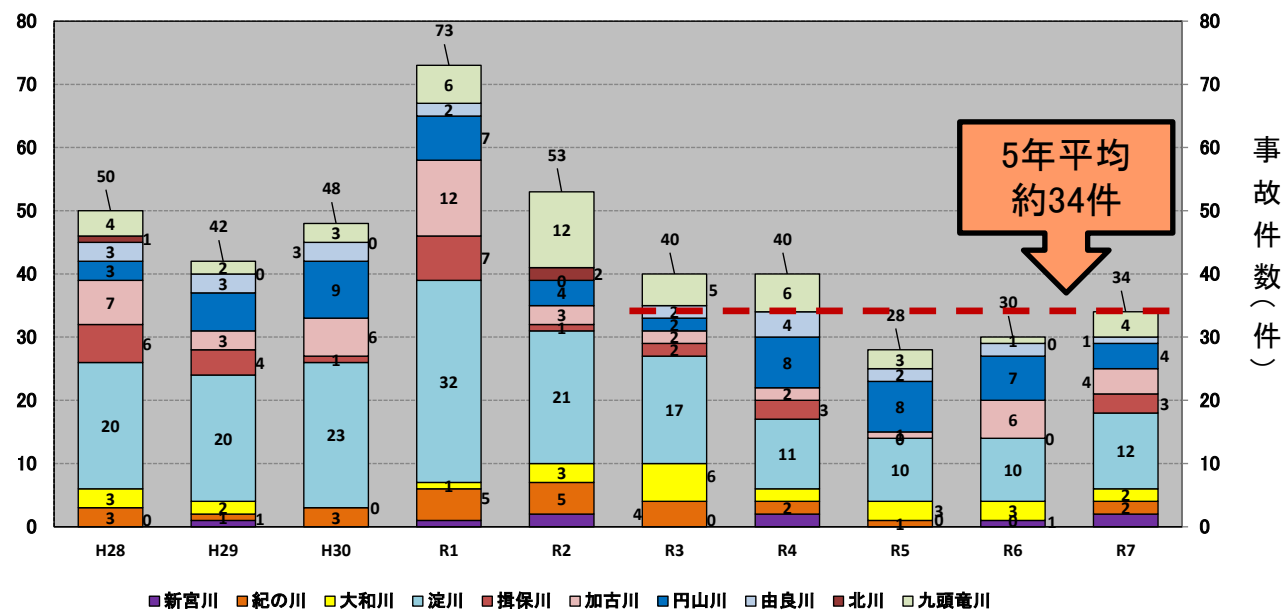
令和7年に近畿地方整備局管内で34件の水質事故が発生しました。

令和7年は34件の水質事故が発生しており、これは近畿地方整備局管内（※）の直近5年（R3～R7年）における平均の水質事故件数（約34件）と同程度です。

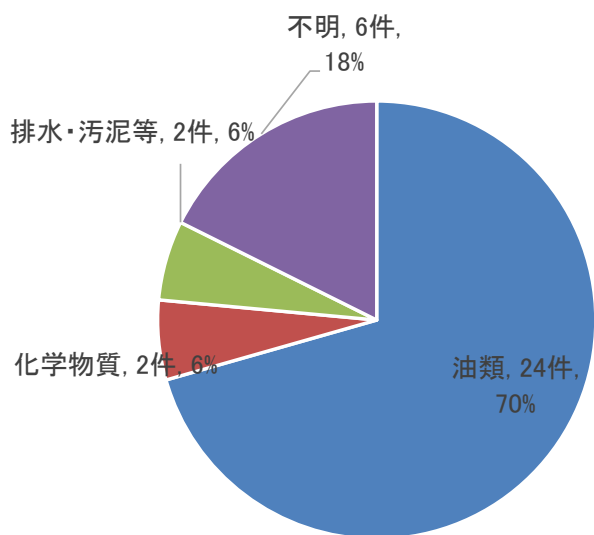
水質事故の種類別では油類によるものが最も多く、全体の70%を占めています。事故原因が判明した水質事故をみると、その原因は交通事故が7件（20%）と最も多く、次いで工場等での操作ミスが3件（9%）、機械の故障、不法投棄がそれぞれ2件（6%）となっています。

※直轄河川とその流域

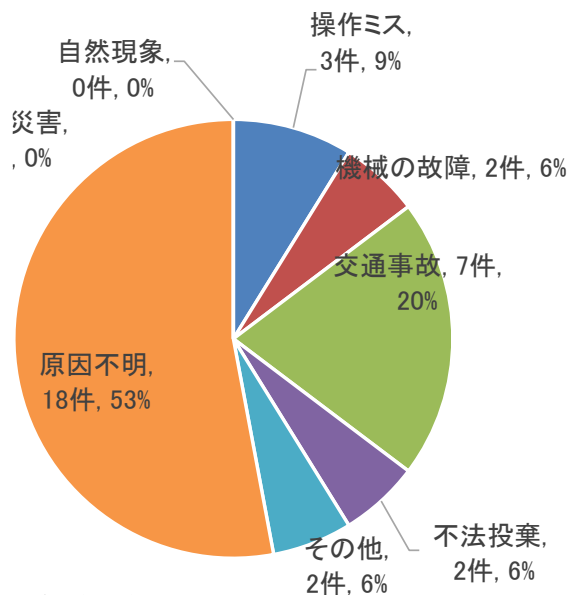
水系別経年変化



令和7年『種類』別の水質事故発生割合



令和7年『原因』別の水質事故発生割合



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

令和7年事故「種類」「原因」別割合

一級河川加古川の概要

兵庫県の粟鹿山（標高962m）に源を発する加古川は、幹線流路延長96km、流域面積1,730km²で、その流域は加古川市をはじめとする11市3町からなり、瀬戸内海播磨灘へと注いでいます。

臨海部では、播磨臨海工業地帯の東の拠点として重化学工業がめざましく発展している一方、中流部では、播州織等の伝統的産業が発展しています。また、三木市では酒米「山田錦」の生産量が全国一となっています。

加古川流域



山田錦まつり

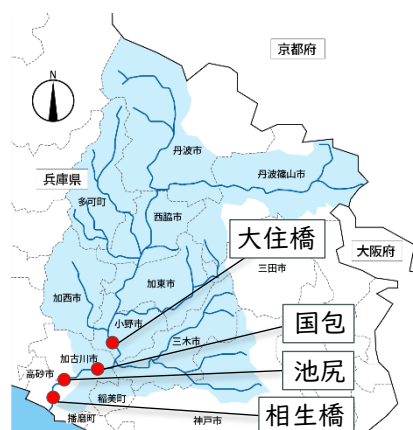
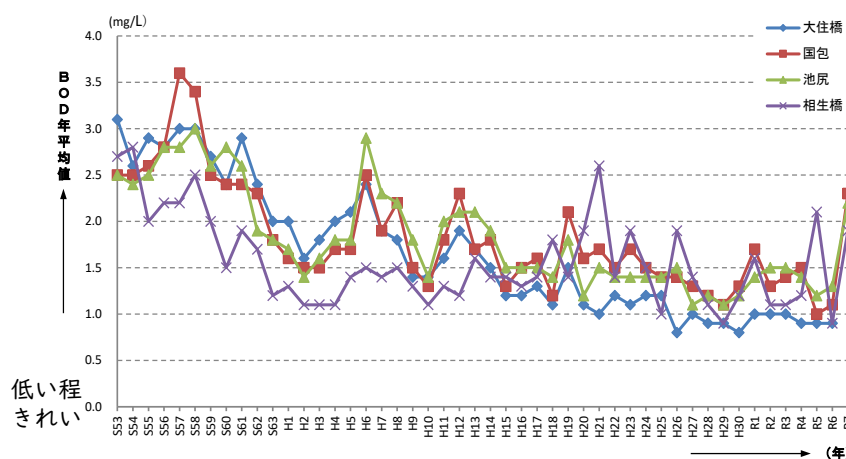


出典：三木市観光協会Webサイト「みつきい観光ガイド」
<https://www.mikishi-kankou.com/wordpress/wp-content/uploads/2026/02/mikishi-kankoguide.pdf>

加古川の水質改善

加古川のBOD（水の汚れ具合の指標）は、流域での様々な取り組みにより、概ね減少（改善）傾向になっています。

加古川の水質経年変化（BOD年平均值）



加古川の環境改善の取り組み

①工業用排水の規制

加古川の上流側では染色業せんしよくぎょうが盛んで、染色業で発生した工業用排水が原因で水質が悪化しておりました。しかし、その後、工業用排水の規制等が行われ水質が改善されている傾向です。

②市民参加による清掃活動

地域住民や地元企業、自治体、国土交通省等が協力して、河川清掃を定期的に実施しています。

■清掃活動



③プロギングHYOGO in みなもロード

加古川の河川敷でジョギングしながらゴミを拾うプロギングも開催されており、環境学習も合わせて行われています。

■ジョギングしながらゴミ拾い

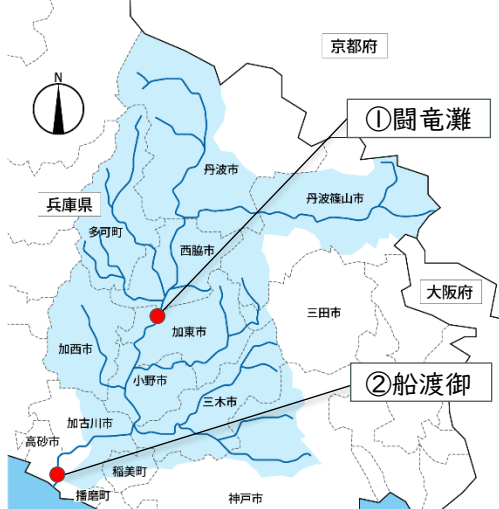


魅力がいっぱい 加古川

とういゅうなだ ① 闘竜灘

奇岩・怪岩が起伏し、落水の豪快なリズムと四季折々の水模様が人々を魅了する名勝です。激しい流れが岩を乗り越えていく様子が、竜のようであることが名前の由来です。

毎年5月1日に全国で最も早く^{あゆ}鮎漁が解禁となり、「笥（かけひ）どり」と呼ばれる独特の漁法が江戸時代より続いています。

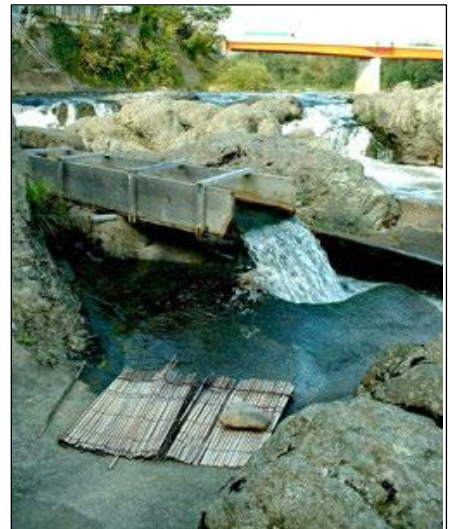


■ 闘竜灘



出典:加古川水系河川整備基本方針(国土交通省)

■ 笥どり



出典:加古川水系河川整備基本方針(国土交通省)

笥（木で作った樋（とい））に水を引き、人工の滝を作り、鮎が遡上（そじょう）する習性を利用して、仕掛けに落とし込む漁法

ふなとぎょ ② 船渡御

高砂神社で3年に一度行われ、神輿が加古川の船着場から船に乗って瀬戸内海を航行し、堀川を経て高砂神社に上がる神事です。

■ 船渡御



出典:加古川水系河川整備基本方針(国土交通省)

魅力がいっぱい 加古川

③東条湖

県立自然公園に指定され、四季折々の自然美が堪能できます。周辺の遊園地やゴルフ場と一体となって関西のレジャー基地ともなっています。

■東条湖

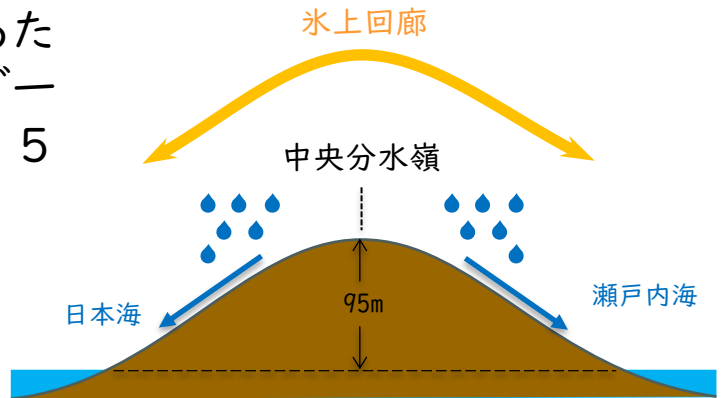


出典:加古川水系河川整備基本方針(国土交通省)

④石生の水分れ/氷上回廊

降った雨が太平洋・瀬戸内海に流れるか、日本海に流れるか、その境界にあたる中央分水嶺が、日本で一番標高の低い場所（約95m）にあります。

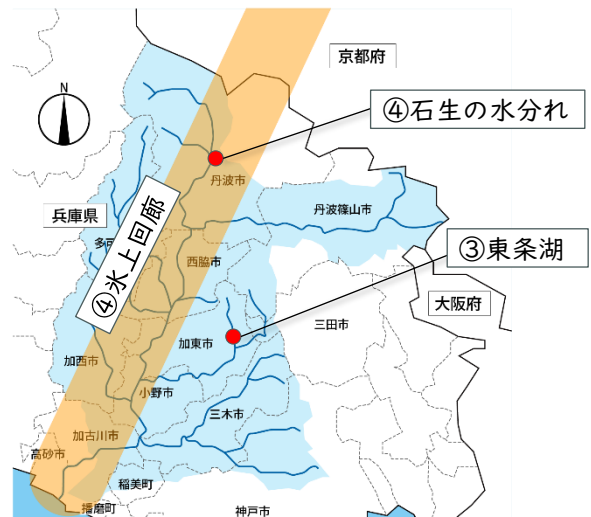
ここを中心に南北に延びる低地帯は、境界の低さ故に太平洋側と日本海側の生物が行き交い、生息域を拡大したルートで「氷上回廊」と呼ばれています。



■水分れ公園



出典:加古川水系河川整備基本方針(国土交通省)



令和7年 近畿地方一級河川の水質現況 概要パンフレット

Recent condition of water quality of class A river in Kinki



国土交通省 近畿地方整備局
河川部 河川環境課

〒540-8586
大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
Tel. 06-6942-1141（代表）

令和8年7月

※このパンフレットは見開きでご活用下さい。